

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	SMASPO大阪北校		
○保護者評価実施期間	2024年7月1日 ～ 2025年6月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2024年7月1日 ～ 2025年6月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年6月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広く、様々な活動ができる。	プログラムのローテーションを毎月考え、利用児に飽きがこないよう、楽しくプログラムが取り組めるようにしている。	専門的支援を取り入れ、お子様一人一人に合う、支援内容を提供していく。
2	利用者一人ひとりに合わせたプログラムを提供し、各自の目標に合わせた取り組みを行っている。	年齢に関係なく異年齢での集団活動を行い、様々なお友だちと関わる機会を作っている。	イベントの際に保護者交流会などを設けて、お悩みや相談事を共有する時間を作っていく。
3	職員間でのコミュニケーションが取れており、活動時、送迎時などの利用者様の情報が素早く共有できている。	イベントを開催し保護者様に実際にお子様活動している姿を見ていただく機会を設けている。	保育園や他事業所との連携を強め、支援方法の共有や今後の方針などを考えていけるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携、他事業所との接点が少ない。	地域にどのような支援機関、サービスがあるかの情報収集が不十分な為。	地域の保育園や事業所の一覧を作成し、定期的に情報を更新する。 地域の福祉連絡会や子育て支援ネットワークの定例会などに参加する機会を増やす。
2			
3			